

国際交流を深める表敬訪問が行われました！

2018年から2019年にかけて、日本語授業および文化交流の一環として、菅谷中学校、玉ノ岡中学校、大妻嵐山中学校・高等学校の生徒がインドネシアの高校生と文通による交流を行いました。

今回はその交流のお礼として、インドネシアの現地教師の方々が来日し、町長ならびに三校を表敬訪問されました。町長訪問時には記念品を贈呈しました。今後もこのような国際交流が広がっていくことが期待されます。



【訪問時に贈られた記念品】

「嵐山町町制施行60周年記念町歌」の歌詞を募集します

問総務課 TEL0493-62-2151

嵐山町は令和9年度に町制施行60周年を迎えます

町民の一体感を高め、町のイメージアップにつながるような「記念町歌」を制作します。応募により決定したフレーズを取り入れ、親しみのある、将来にわたって歌い継がれる「記念町歌」の歌詞を募集します。

- 募集期間 9月1日(月)から10月31日(金)まで
- 応募資格 どなたでも応募できます。(個人、グループは問わない。)
- 応募規定
 - ▶ 歌詞に「嵐山」というフレーズを必ず入れること。また、下記のフレーズをできる限り(2つ以上)入れること。
 - ▶ 歌詞は2番または3番までとし、漢字およびローマ字には必ずふりがなをつけること。
 - ▶ 自作・未発表のオリジナルの歌詞で、他者の知的財産権(著作権)を侵害しないもの。
 - ▶ 応募は1人(1グループ)1作品とする。
- 入賞賞金 最優秀作品1作品(採用作品)には賞金3万円を贈呈します。
- 応募方法 歌詞は、指定の応募用紙(町ホームページまたは役場総務課窓口にて配布)により、インターネット、郵送および持参により応募ください。



詳しくはこちらから

～歌詞に入れて欲しいフレーズ～

- 必ず入れるフレーズ：「嵐山」
- できる限り入れるフレーズ(下記より2つ以上)
 - ① 湊谷 ② 桜並木 ③ 緑豊か ④ 大平山 ⑤ 清流 ⑥ オオムラサキ ⑦ 十年続けと香る花苑 ⑧ 平和を祈る紫の花
 - ⑨ 杉山城 ⑩ 菅谷館跡 ⑪ 鎌倉武士の鑑 ⑫ 獅子舞 ⑬ 武蔵 ⑭ 菅谷・志賀・七郷・玉ノ岡 ⑮ みんなが笑顔 ⑯ 幸せいっぱい
 - ⑰ 未来に羽ばたけわたしたちの故郷

たくさんのご応募ありがとうございました！(応募フレーズ総数：103フレーズ)

9月20日～26日は動物愛護週間です

この週間は動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めるために設けられています。

町でも、動物の飼い方や野良猫への餌やり、糞尿被害に関する相談が寄せられています。この機会に、身近にいる動物との関わり方に理解を深めましょう。また、町内の取組みとして、猫のTNR活動や譲渡活動などの動物愛護ボランティアが行われています。譲渡活動の他、飼い主の方へのお知らせやお願いなど、ペットに関する情報はホームページをご覧ください。

詳しくはこちらから



問環境課 TEL0493-62-0719

防災力を高める新たな取り組み

～B&G財団と防災協定を締結～

問地域支援課 TEL0493-62-2152

7月15日、嵐山町B&G海洋センター敷地内にて、公益財団法人B&G財団による「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の一環として、協定書の調印式と配備機材のお披露目式が行われました。B&G財団が全国100か所を目標に進めている防災拠点整備事業において、県内では嵐山町が初の事例となります。



本町では、B&G財団からの支援(3年間で総額5,900万円)を活用し、昨年度から油圧ショベルやホイールローダー、軽リフトダンプ、救助艇、移動式冷暖房機などの機材配備のほか、町職員や消防関係者を対象に重機オペレーターなどの人材育成を行ってきました。

今回、嵐山町B&G海洋センター敷地内に整備を進めていた防災倉庫が完成したことを受け、継続的な人材育成や周辺自治体との連携促進などを趣旨とした協定を新たに締結しました。

式典にはB&G財団菅原悟志理事長をはじめ近隣自治体の町長や地元消防団など多くの関係者が出席し、式典後のお披露目式では、町職員による配備機材のデモンストレーションが行われました。

町では今後も、配備された機材を活用した研修等を継続するとともに、周辺自治体との連携を深め、地域全体で災害対応力の向上を目指します。



明るい社会をめざして

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

問福祉課 TEL0493-62-0716

この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。町では、7月8日に役場会議室において保護司および更生保護女性会の皆さんが内閣総理大臣メッセージを町長へ伝達しました。その後、ヤオコー嵐山バイパス店と嵐山農産物直売所において、うちわやティッシュなどの啓発物資を配布し、熱心に街頭キャンペーンを行いました。

